

産研究会

湘南地域のエコロジカルプランニング 小出川流域自然再生にむけて

背景・目的

小出川は藤沢市西北部を源流域とし、相模川へと流れ込む二級河川である。流域は藤沢市、寒川町、茅ヶ崎市の3つの市町村にまたがっている。研究対象地とする上流域はほとんどが市街化調整区域に設定されており、自然的土地利用が大半を占める。

しかし一部地域では不適切な土地利用のために農薬・排水による水環境の悪化を招くなど、良好な自然環境が保たれていない地域もある。また三市町村の都市計画マスタープランでは開発方針がたてられており、近い将来この地域が市街化区域に組み込まれると思われる。そうなった場合に無秩序な開発が行われる可能性がある。

この研究ではエコロジカルプランニングの手法を適用することで、地域を流域という観点で捉え環境資源目録を作成する。それにもとづいた環境評価を行い、自然環境と調和した土地利用の提案をすることが目的である。

研究方法

地図の重ね合わせによって地域の環境資源目録を作成する。トレーシングペーパーによる重ねあわせとGISによる作業を行う。

(地形図、植生図、地質図、水文図、文化財分布図、動植物分布図、災害実績図、土地利用動向図)

1. 集水域による対象地域の設定
2. 基礎図面から読み取れる基礎情報の作成
 - ・ 地形図からの傾斜区分図作成
 - ・ 地質図による地質分類
 - ・ 土地利用、植生図の作成
 - ・ 水文図から流域の河川、沼、湧水などのプロット
 - ・ 文化財分布図
 - ・ 動植物分布図
 - ・ 災害実績図から浸水実績、地すべりなど。
 - ・ 土地利用動向図
3. 評価軸の設定
評価軸の設定をする。
4. 評価軸に沿ってオーバーレイをし、開発可能性条件図、制約性条件図を作る。
5. 最終評価
7. ビジョンの設定から提案。活用方針の検討。